

## 第4款 衛生費

### 項1 保健衛生費

#### 目1 保健衛生総務費

##### 1 母と子の健康づくり事業費

章	1	節	2	施策	2	予算額	9,780	決算額	8,446
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

健康診査や健康教育、健康相談事業等を行い、母性並びに乳幼児の健康の保持と増進に努めた。

##### (1) 幼児歯科保健対策経費

予算額	1,631	決算額	1,446
-----	-------	-----	-------

幼児期からの虫歯予防及び歯の健康管理意識向上に努めた。

○フッ素洗口 各保育所で週5日実施した。

平成18年度	平成17年度	平成16年度
243 人	226 人	288 人

○フッ素塗布 1歳6か月児～4歳未満児の希望者に対し、塗布を実施した。

平成18年度	平成17年度	平成16年度
746 人	669 人	748 人

○虫歯予防教室 親子で参加してもらい、歯のみがき方を指導した。

平成18年度	平成17年度	平成16年度
40 組	35 組	33 組

##### (2) 乳幼児健康診査経費(4か月児)

予算額	675	決算額	566
-----	-----	-----	-----

診察、身体計測、栄養相談、育児相談

年12回実施

区 分	H18年度	H17年度	H16年度
対象者数	394 人	385 人	388 人
参加者数	365 人	369 人	371 人
参加率	92.7 %	95.8 %	95.6 %

##### (3) 1歳6か月児健康診査経費

予算額	1,298	決算額	1,165
-----	-------	-----	-------

診察、歯科検診、身体計測、栄養相談、育児相談

年12回実施

区 分	H18年度	H17年度	H16年度
対象者数	398 人	429 人	439 人
受診者数	363 人	384 人	379 人
受診率	91.2 %	89.5 %	86.3 %

##### (4) 母子栄養管理事業経費(8か月児)

予算額	245	決算額	179
-----	-----	-----	-----

離乳食指導、身体計測、育児相談、栄養相談、あそびの紹介

年12回実施

区 分	H18年度	H17年度	H16年度
対象者数	383 人	369 人	434 人
相談者数	346 人	331 人	387 人
実施率	90.3 %	89.7 %	89.2 %

(5) 妊婦健康診査経費	予算額	3,472	決算額	2,898
--------------	-----	-------	-----	-------

母子健康手帳交付時に健診受診票を交付

区 分	H18年度	H17年度	H16年度
妊婦一般健康診査	362 人	383 人	405 人
同(HBs抗原検査未実施)	3 人	1 人	0 人
超音波検査	58 人	37 人	30 人
HBs抗原陽性者指導	2 人	4 人	3 人

(6) 3歳児健康診査経費	予算額	1,349	決算額	1,223
---------------	-----	-------	-----	-------

診察、歯科検診、身体計測、尿検査、視聴覚検査、栄養相談、育児相談

年12回実施

区 分	H18年度	H17年度	H16年度
対象者数	455 人	418 人	447 人
受診者数	402 人	346 人	407 人
受診率	88.4 %	82.8 %	91.1 %

(7) 母子訪問指導経費	予算額	1,053	決算額	940
--------------	-----	-------	-----	-----

区分	H18年度	H17年度	H16年度
新 生 児	219 人	154 人	189 人
乳 児	28 人	13 人	16 人
幼 児	58 人	79 人	78 人
妊 産 婦	227 人	148 人	189 人

(8) 健やか親子教室経費	予算額	57	決算額	33
---------------	-----	----	-----	----

○健やかマタニティ教室

妊婦とその夫を対象に沐浴・おむつ交換・妊婦疑似体験、先輩ママとの交流会や食生活について指導を行った。

参加者数 妊婦 59人 父親 55人

○健やか赤ちゃん教室

乳児とその保護者を対象に親子あそびを紹介し、生活リズムや食事の大切さについて、指導を行った。

参加者数 母子 66人

2 地域医療対策等経費

章	1	節	2	施策	3
---	---	---	---	----	---

予算額	2,670	決算額	1,181
-----	-------	-----	-------

○ 北海道総合在宅ケア事業団会費

700 千円

在宅ケアを重視したサービスを提供するとともに、保健・医療・福祉の連携を担う中枢機関として設置された「訪問看護ステーション」の設置に伴う負担金

○ 歯科救急医療啓発事業委託料

481 千円

市内の歯科医療機関において、年末年始、日曜日における歯科救急患者の診療を、室蘭歯科医師会と連携しながら確保した。

委託先: 室蘭歯科医師会

区分	H18年度	H17年度	H16年度
利用者数	74 人	75 人	85 人

3 広域救急医療対策事業負担金

章	1	節	2	施策	3
---	---	---	---	----	---

予算額	8,200	決算額	8,113
-----	-------	-----	-------

室蘭・登別市内の5医療機関及び西胆振医療圏の2医療機関において、休日・夜間における重症救急患者の診療を、室蘭市医師会及び胆振西部医師会と連携しながら確保した。  
(二次救急)

市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、新日鉄室蘭総合病院、登別厚生年金病院、大川原脳神経外科病院、伊達赤十字病院、洞爺協会病院

4 救急医療啓発普及事業負担金

章	1	節	2	施策	3
---	---	---	---	----	---

予算額	1,481	決算額	1,438
-----	-------	-----	-------

室蘭・登別市内の5医療機関において、休日・夜間における外来患者の診療を、室蘭市医師会と連携しながら確保した。

(一次救急)

市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、新日鉄室蘭総合病院、登別厚生年金病院、大川原脳神経外科病院

5 小児救急医療支援事業負担金

章	1	節	2	施策	3
---	---	---	---	----	---

予算額	2,619	決算額	2,619
-----	-------	-----	-------

室蘭市内の3医療機関及び西胆振医療圏の1医療機関において、休日・夜間における小児重症救急患者の診療を、室蘭市医師会及び胆振西部医師会と連携しながら確保した。

(小児二次救急)

市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、新日鉄室蘭総合病院、伊達赤十字病院

- 6 簡易水道事業特別会計繰出金 

予算額	19,396	決算額	11,675
-----	--------	-----	--------

  
 人件費をはじめとする事務費、簡易水道管理経費に係る一般財源相当額を繰出対象として繰出額を決定し、一般会計から繰出しを行った。

- 7 北海道難病連運営事業助成金 

章	1	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	55	決算額	54
-----	----	-----	----

  
 難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者とその家族の社会的自立活動を促進し、福祉の増進を図ることを目的に活動している財団法人北海道難病連に対し補助した。

- 8 室蘭地方腎友会補助金 

章	1	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	20	決算額	20
-----	----	-----	----

  
 腎臓病患者の自己管理の知識向上や腎臓病予防のための知識普及啓発、会員相互の交流・親睦を図る活動をしている室蘭地方腎友会に対し補助した。  
 本補助金は平成18年度をもって廃止した。

- 9 ヘルシークッキング教室経費 

章	1	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	73	決算額	49
-----	----	-----	----

  
 将来の健康づくりに向け、食生活習慣の基礎が確立する時期において、講話・調理・実習を通して正しい栄養の知識を身につけてもらうなど、指導を行った。

区 分	H18年度	H17年度	H16年度
参加者数	37 人	32 人	26 人

- 10 自動体外式除細動器購入費 

章	1	節	2	施策	3
---	---	---	---	----	---

予算額	1,915	決算額	1,901
-----	-------	-----	-------

  
 運動中などの心停止による「突然死」を防止するため、主要な公共施設に自動体外式除細動器を設置した。

設置施設：しんた21、市民プール、総合体育館、岡志別の森運動公園、  
 ネイチャーセンター

その他平成18年度中に民間等から11台の寄贈を受けたことから、次の公共施設に設置した。

設置施設：本庁舎、市民会館、鷺別公民館、婦人センター、登別温泉ふれあいセンター、  
 クリニクルセンター、中学校(5校)

(課題)

新ガイドラインで、1歳以上の小児に対しても自動体外式除細動器の使用が可能となったことから既設施設への小児用電極パッドの導入を図ることとした。

また、自動体外式除細動器の導入に併せ施設の職員などを対象に、使用方法についての救命講習会を開催した(受講者総数204名)。

今後は、設置した施設での利用状況や財政状況を踏まえながら、追加導入を検討する。

## 目2 予防費

### 1 予防接種経費

章	1	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	54,559	決算額	51,299
-----	--------	-----	--------

予防接種による免疫効果や安全性等の情報を提供するとともに予防接種の勧奨に努め接種率の向上を図った。

#### (1) 予防接種経費

伝染のおそれがある疾病の発生やまん延を防止するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上と増進に努めた。

(予防接種実施状況)

区 分	集 団		個 別	合 計
	回数	接種者数	接種者数	
ポリオ	16	702		702
BCG	24	409		409
三種混合			1,497	1,497
二種混合			390	390
麻しん・風しん			682	682
計	40	1,111	2,569	3,680

#### (2) インフルエンザ予防接種経費(高齢者)

高齢者(原則65歳以上)を対象に、インフルエンザ予防接種を実施し、り患防止に努めた。

対象者数	接種者数		合 計	接種率
	60~64歳	65歳以上		
13,363 人	11 人	7,398 人	7,409 人	55.4%

インフルエンザ接種者数の内訳

種 別	国 保	生 保	非課税	一 般	合 計
接種者数	6,326人	185人	25人	873人	7,409人
構 成 比	85.4%	2.5%	0.3%	11.8%	100%

### 2 エキノコックス症対策経費

章	1	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	497	決算額	384
-----	-----	-----	-----

エキノコックス症の予防と患者の早期発見・治療のため、血清検査を実施するとともに啓発看板を設置した。また、疫学調査のために検体(きつね)の捕獲を行った。

なお、札内地区については5年毎に検査会場を設けて実施している。

区 分	H18年度	H17年度	H16年度
血清検査者数	12 人	123 人	18 人

3 健康づくり推進協議会経費

章	1	節	2	施策	1	予算額	50	決算額	35
---	---	---	---	----	---	-----	----	-----	----

市民の健康づくり推進のため、登別市健康づくり推進協議会が老人保健法及び母子保健法に基づいた実施計画の策定や実施運営について協議した。

開催状況 年1回 委員数 12名

4 野犬掃討・畜犬登録等経費

章	2	節	1	施策	1	予算額	8,786	決算額	8,500
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

畜犬の登録や狂犬病の予防、犬による人又は家畜等への危害防止のため、野犬の掃討を実施した。

苦情処理件数	74件	野犬捕獲頭数	35頭
小動物死骸処理件数	76件	畜犬登録頭数	2,922頭
カラスの巣の駆除	43件	蜂の巣の駆除	89件
害虫の駆除	2件		

目3 保健事業費

平成20年度から老人保健法は高齢者医療確保法に全面改正され、基本健康診査等は各医療保険者が特定健康診査・特定保健指導として実施することが義務化される。

各種がん検診等については、健康増進法に基づく事業に位置付けられ健康増進事業として実施することとなる。

1 老人保健事業費

(1) 健康手帳作成経費(老人保健事業)

章	1	節	2	施策	1	予算額	168	決算額	78
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	----

健診結果を記録して健康管理に役立てるため、40歳以上の市民に配布した。

(2) 健康教育経費(老人保健事業)

章	1	節	2	施策	1	予算額	1,427	決算額	1,237
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

メタボリックシンドロームを中心とした生活習慣病について健康教室を開催するとともに、「健康通信きらり」を作成配付し、市民の健康維持・増進に寄与した。

開催回数 75回 受講者数 2,032人

(3) 健康相談経費(老人保健事業)

章	1	節	2	施策	2	予算額	346	決算額	180
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

年々増加する生活習慣病について、個別的な助言・指導を行うため保健師や栄養士が定期・臨時に健康相談を実施し、生活改善や健康管理に寄与した。

実施回数 59回 相談者数 540人

(4) 健康診査経費(老人保健事業)

章	1	節	2	施策	2	予算額	48,745	決算額	46,019
---	---	---	---	----	---	-----	--------	-----	--------

疾病の早期発見、早期治療により健康寿命の延伸を図った。

区 分	回数	対象者数	受診者数	受診率	自己負担額
基本健康診査	通年	7,800 人	2,145 人	27.5 %	1,500 円
子宮がん検診	通年	3,850 人	926 人	24.1 %	1,700 円
乳がん検診	通年	3,850 人	450 人	11.7 %	2,200 円
前立腺がん検診	通年	787 人	686 人	87.2 %	1,100 円
胃がん検診	通年	7,800 人	778 人	10.0 %	2,900 円
肺がん検診	通年	7,800 人	2,121 人	27.2 %	600 円
大腸がん検診	通年	7,800 人	1,325 人	17.0 %	1,100 円
肝炎検査	通年	319 人	46 人	14.4 %	1,100 円

(5) 訪問指導経費(老人保健事業)

章	1	節	2	施策	1	予算額	321	決算額	187
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

生活習慣病や心身の機能低下がみられ、個別に支援が必要な市民を対象に保健師が訪問・指導した。

指導者数 25人

2 女性の健康づくり推進事業費

章	1	節	2	施策	2	予算額	541	決算額	541
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

若年期から健康に関心をもち健康の保持・増進を図るとともに、生活習慣病を予防することを目的に健康診査や骨密度検査を実施した。

区 分	平成18年度	平成17年度	平成16年度
女性のための健康診査			
19歳から39歳までの女性	健康診査 82 人	83 人	111 人
骨密度検査			
19歳から59歳までの女性	骨密度検査 67 人	88 人	100 人
	計 149 人	171 人	211 人

3 歯科保健事業費

章	1	節	2	施策	2	予算額	204	決算額	172
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

若年期から歯周病を予防し、いつまでも自分の歯を大切にすることを目的に30歳以上の市民(ただし、女性のための健康診査に合わせて実施する分については19歳~39歳の女性)を対象に、口腔内検査、歯科保健指導を行った。

なお、平成19年度からは、老人保健法に基づくものとして実施する。

区 分	平成18年度	平成17年度	平成16年度
受診者数	60 人	66 人	64 人

## 目4 環境衛生費

### 1 葬斎場運営管理経費

章	2	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	13,984	決算額	12,615
-----	--------	-----	--------

葬斎場使用料の内訳		平成18年度			平成17年度			平成16年度		
		市内	市外	合計	市内	市外	合計	市内	市外	合計
火葬 件数	10歳以上	488	16	504件	487	17	504件	411	12	423件
	10歳未満	2		2件	3		3件	4		4件
	死産児	15		15件	12		12件	10		10件
	身体の一部	10		10件	9	1	10件	12	1	13件
	産わい物等			0件			0件			0件
	合計	515	16	531件	511	18	529件	437	13	450件
待合室使用件数		477	17	494件	483	16	499件	399	11	410件

### 2 墓地管理経費

章	2	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	8,532	決算額	7,577
-----	-------	-----	-------

墓地の環境整備と維持管理等に努めた。

草刈及び支障木の伐採による墓地の環境整備・維持管理等

供物等の持ち帰り啓発看板及び第二富浦墓地案内看板の設置

無料バスの運行(8月13日～15日の3日間、乗車人員延べ145人)

## 目5 公害対策費

### 主要データ

#### ① 公害苦情発生件数の推移

区分	総数	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭
H18年度	27	14	7	4	1	1
H17年度	22	17	3	1		1
H16年度	22	10	7	2	1	1

### 1 公害対策経費

章	2	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	1,454	決算額	1,367
-----	-------	-----	-------

美しい自然を守り、住みよい環境をつくるために、交通騒音調査や河川の水質測定調査、大気中のダイオキシン類の測定調査などを実施した。

国道36号線沿道自動車交通騒音調査(測定箇所 2箇所)

登別川河川水質測定調査(年4回、測定箇所 5箇所)

市内10河川水質測定調査(年2回、各河川測定箇所 1箇所)

サト岡志別川河川水質測定調査(年4回、測定箇所 5箇所)

有害大気汚染物質調査(年2回、測定箇所 1箇所)



## 項2 清掃費

### 目1 清掃総務費

#### 1 ごみ減量化推進等経費

章	2	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

#### (1) リサイクル・啓発経費

予算額	1,034	決算額	842
-----	-------	-----	-----

資源ごみの回収を円滑に進め、ごみの減量や地域の環境保全と美化促進を図るとともに、資源の再生利用を促し、循環型社会の形成に努めた。

各種講習会の実施 マイバッグづくり講習会(2回) 参加者計 28人

ガーデニング講習会(4回) 参加者計 67人

びん・ペットボトル再商品化委託 びん 483.21t ペットボトル 165.61t

不用品ダイヤル市 登録件数118件、 成立件数66件

#### (2) ごみ袋管理経費

予算額	34,148	決算額	33,580
-----	--------	-----	--------

ごみ袋の製作や販売業務委託等を実施した。

#### (3) ごみステーションネット化推進事業補助金

予算額	168	決算額	84
-----	-----	-----	----

美観や衛生、交通安全に配慮するとともに、ごみ収集効率の向上のため、ステーションのネット化を推進した。

補助枚数 50枚(13町内会)

#### (4) 生ごみ堆肥化容器購入費補助金

予算額	50	決算額	50
-----	----	-----	----

生ごみの自己処理により、ごみの減量と生ごみの有効活用を図るため、生ごみ堆肥化容器の購入者に対して、購入費の一部を補助した。

補助個数 44個(通算補助個数3,334個)

※事業期間が長期に及んでおり、当初の目的であった生ごみの有効利用とごみ減量化に対する意識の向上は図られたことから、平成18年度をもって本事業は廃止した。

#### 2 不法投棄等防止経費

章	2	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	175	決算額	129
-----	-----	-----	-----

廃棄物の不法投棄や犬のふんの放置防止のための活動を推進した。

不法投棄防止

通報協力体制の構築、早期・夜間パトロールの実施、看板、バリケードの設置

ポイ捨て及び犬のふん放置防止

街頭啓発、散歩中の飼い主への放置防止啓発

3 衛生団体連合会運営事業助成金

章	2	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	500	決算額	500
-----	-----	-----	-----

公衆衛生の向上と良好な生活環境保全のために、地区衛生組織の実践活動を促し、清潔で美しいまちづくりに努めた。

事業内容

クリーン作戦の実施 春： 85町内会 不燃ごみ5, 160kg・自転車111台回収  
秋： 75町内会 不燃ごみ2, 150kg・自転車 79台回収

衛団連だよりの発行 衛団連の事業実施内容等を掲載し、町内会で回覧

表彰事業の実施 衛団連事業の遂行に貢献し、特にその功績が優れている個人  
17人・7団体を表彰

各種関連事業への参加～登別消費生活展、リサイクルまつりへの参加

4 資源回収団体奨励金

章	2	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	5,550	決算額	5,254
-----	-------	-----	-------

ごみの減量と資源の有効利用を図るため、地域で資源回収事業を行う団体に奨励金を支給した。

区 分	平成18年度	平成17年度	平成16年度
実施団体数	83団体	84団体	84団体
回 収 量	1,751t	1,728t	1,767t

5 リサイクルまつり開催経費

章	2	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	272	決算額	260
-----	-----	-----	-----

ごみの減量及びリサイクル活動の普及啓発を目的として、リサイクルまつり06'イン登別・白老を開催した。

開 催 日 7月31日(日)・8月1日(月) 会 場 クリンクルセンター

参加人員 約1,000人

イベント内容 フリーマーケット、堆肥化製品の無料配布、リサイクル生活展(エコ商品の展示・販売)、ダンボールコンポストの作り方、環境パネル展、ペットボトル工作教室、紙すき・絵手紙づくり体験、環境クイズ、登別・白老物産展等

6 生活排水処理基本計画策定委託料

章	2	節	1	施策	3
---	---	---	---	----	---

予算額	2,835	決算額	2,835
-----	-------	-----	-------

水洗化の普及に伴い、し尿処理量が減少していることや既存施設の老朽化が進んでいることから、下水道施設への投入を検討するため、生活排水処理基本計画を策定した。

## 目2 塵芥収集費

章	2	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

### 1 塵芥収集経費

#### (1) 塵芥収集運搬業務委託料

予算額	117,180	決算額	117,180
-----	---------	-----	---------

家庭系ごみの収集運搬を全面委託

委託名 燃やせるごみ・燃やせないごみ等収集運搬業務委託

資源ごみ・粗大ごみ収集運搬業務委託

ごみステーション数 1,523箇所(平成19年3月末)

収集日 月曜日から土曜日まで

収集回数 燃やせるごみ 週2回 燃やせないごみ 月2回

粗大ごみ 年2回 資源ごみ 週1回

#### (2) その他塵芥収集経費

予算額	5,798	決算額	3,237
-----	-------	-----	-------

ごみステーション・車両関係費、各種処分手数料(フロンガス、蛍光管等)等

## 目3 塵芥処理費

章	2	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

### 1 クリニクルセンター運営管理経費

予算額	672,320	決算額	667,259
-----	---------	-----	---------

年間処理実績の推移(登別+白老)

区 分		平成18年度	平成17年度	平成16年度
焼却処理施設		31,064t	30,100t	29,522t
(燃やせるごみ、破碎可燃物等、汚泥)		(7,037t)	(7,286t)	(7,139t)
破碎処理施設		2,315t	2,432t	2,345t
(燃やせないごみ、粗大ごみ)		(491t)	(465t)	(440t)
資源化施設(資源ごみ)		2,098t	2,045t	2,053t
		(542t)	(570t)	(599t)
高速堆肥化処理施設		308t	311t	357t
(事業系生ごみ)				
堆肥生産量		48t	53t	52t
再生展示施設	展示数	133点	153点	146点
	提供数	97点	97点	94点
施設見学及び施設利用者数		2,581人	2,710人	3,312人

※( )は、うち白老町搬入分です。

(課題) 白老町のバイオマス燃料化施設整備事業に伴い、平成21年4月から処理量が減少する見込みであることから、今後の管理運営方法等の見直しが必要である。

### 2 最終処分場運営管理経費

予算額	46,898	決算額	41,984
-----	--------	-----	--------

年間埋立実績の推移(登別市)

区 分	平成18年度	平成17年度	平成16年度
焼却残さ	1,676t	1,751t	1,963t
破碎残さ	384t	391t	410t
資源化残さ	91t	63t	41t
計	2,151t	2,205t	2,414t

#### 目4 し尿処理費

章	2	節	1	施策	3
---	---	---	---	----	---

##### 1 し尿収集業務委託料

予算額	57,750	決算額	56,717
-----	--------	-----	--------

し尿の収集運搬業務を民間に委託し、適正迅速に処理した。

区 分		平成18年度	平成17年度	平成16年度
処理	世帯数	5,460世帯	6,420世帯	7,079世帯
対象	人 口	9,960人	12,231人	13,885人
年間処理量		10,803kl	12,031kl	13,843kl

##### 2 し尿処理施設運転・管理業務委託料

予算額	31,080	決算額	31,080
-----	--------	-----	--------

し尿処理施設の運転・管理業務を委託し、コストの削減と円滑な施設運営に努めた。

##### 3 クリーンチケット取扱委託料

予算額	2,024	決算額	1,372
-----	-------	-----	-------

市内販売店数 47店

##### 4 し尿処理施設整備事業費

予算額	10,000	決算額	9,923
-----	--------	-----	-------

し尿及び浄化槽汚泥の適正処理を図るため、老朽化が著しいし尿処理施設の維持補修整備を実施した。

事業内容            貯留槽整備補修  
                          脱離液槽躯体整備補修